

磐田市協働のまちづくり推進委員会  
事業説明資料



# 市民活動団体実態調査(基本情報)

平成 年 月 日

記入者 氏名(役職含む)

連絡先(TEL・携帯等)

※「団体基本情報」及び「活動内容」にご記入いただいた情報は、ホームページなどで公開を予定しています。公開したくない情報につきましては、各項目の口欄にレ点をお願いします。

団体基本情報	(フリガナ) 口団体・グループ名	( )		
	(フリガナ) 口代表者	( ) 役職 氏名		
	口団体・グループの種別 ※該当する番号に○をつけてください。	1. NPO法人 2. 市民活動団体(法人格無) 3. 自治会関係の団体・グループ 4. ボランティア団体・グループ(ボラ連を含む) 5. 趣味の団体・グループ 6. 企業関係の団体・グループ 7. その他( )		
	口所在地(連絡先)	〒		
	口電話 / FAX	Tel / Fax		
	口E-mail			
	口ホームページ/ブログ			
活動内容	口活 動 の 種 類 ※主な活動に◎、他は○をつけてください(複数可)	口活 動 目 的		
	1 保健、医療、福祉 11 子どもの健全育成			
	2 社会教育 12 情報化社会発展			
	3 まちづくり 13 科学技術振興			
	4 学術、文化、芸術、スポーツ 14 経済活動活性化	口具 体 的 な 活 動 内 容		
	5 環境保全 15 職業能力開発、雇用機会拡充支援	①		
	6 災害救助 16 消費者保護	②		
	7 地域安全 17 観光振興			
	8 人権擁護、平和推進 18 農山漁村、中山間地域振興	③		
	9 国際協力 19 NPO・市民活動支援			
10 男女共同参画 20 その他				
口主な活動範囲	※該当する番号に○をつけてください(複数可)			
	1. 見付 2. 中泉 3. 今之浦、4. 岩田、大藤、向笠 5. 西貝、御厨、南御厨、田原 6. 天竜、長野、於保 7. 福田 8. 竜洋 9. 豊田 10. 豊岡 11. 磐田市全域 12. 静岡県西部 13. 静岡県内 14. その他			
口会員数	男 人	女 人	口平均年齢 歳代	
口設立年度	S・H 年	口会費	有 ( 円/年) ・ 無	
口団体・グループPR			口会員募集 有 ・ 無	

ご協力ありがとうございます。引き続き、裏面のアンケートにご回答ください。

# 【問1】貴団体の活動について

1 貴団体の主な活動場所について、お聞きします。

(1)主な活動場所は、どこですか？

1. 個人宅            2. 自治会公会堂    3. 市立公民館    4. 公共の福祉施設  
5. 公共のスポーツ施設    6. 公共の文化施設    5. 公共の教育施設  
6. 公共の子育て支援施設    7. 市民活動センター    8. 男女共同参画センター  
9. 多文化交流センター    10. 自前の施設    11. その他[            ]

2 現在の活動内容に満足していますか？

1. 満足している    2. まあまあ満足している  
3. 満足していない〔理由:            〕

3 貴団体の活動は、どのようなタイプですか？

1. 社会的な活動(ボランティア活動、子育て支援・高齢者支援など社会や人のために行う活動) =  
2. 仲間内の活動(趣味やスポーツなど自分や仲間のために行う活動) ⇒問5へ  
3. 両方の活動 ⇒問4へ

4 上記の1・2へ、レ点を付けた団体にお聞きします。

(1)貴団体で実施している社会貢献活動は、何ですか？(複数回答可)

1. 保健・医療・福祉の活動            2. 社会教育の活動            3. まちづくりに関する活動  
4. 学術・文化・芸術・スポーツの活動    5. 環境保全に関する活動            6. 災害救助に関する活動  
7. 地域安全に関する活動            8. 人権擁護・平和推進に関する活動    9. 国際協力に関する活動  
10. 男女共同参画に関わる活動    11. 子どもの健全育成に関わる活動    12. 情報化社会の発展に関わる活動  
13. 科学技術の振興にかかわる活動    14. 経済活動の活性化に関わる活動    15. 職業能力開発・雇用機会拡充支援活動  
16. 消費者保護の活動            17. 観光振興に関わる活動            18. 農山漁村、中山間地域振興活動  
19. NPO・市民活動支援に関する活動    20. その他 [            ]

(2)今後、貴団体で実施したい社会貢献活動がありましたら、優先順位順に前問の番号で  
3つお書きください。 

--	--	--

5 他団体との交流、あるいは協力して活動することについて、お聞きします。

1. 活動している            2. 活動したい            3. 場合によっては可能  
4. むずかしい            5. その他 [            ]

6 貴団体の平成23年度年間活動規模は、どのくらいでしたか？

1. 0円    2. 1万円未満    3. 1～20万円未満    4. 20～50万円未満  
5. 50～100万円未満    6. 100～500万円未満  
7. 500～1,000万円未満    8. 1,000万円以上

7 貴団体の財源について、お聞きします。

(1)財源として含まれるものには、すべてレ点をお願いします。

1. 会費(入会金含む)            2. 事業収入(活動における収益)  
3. 行政からの補助金            4. 行政からの業務委託金    5. 民間からの補助金・助成金  
6. 民間からの業務委託費    7. 寄付金            8. その他[            ]

(2)今後伸ばしていきたい財源がありましたら、前問の番号で2つお書きください。 

--	--

8 現在の活動で不足しているものは、何ですか？

優先順位の高いものを3つ選び、1～3の番号をお書きください。

1. リーダー            2. スタッフ            3. ボランティア            4. 会員  
5. 事務所            6. 活動場所            7. 活動資金  
8. 専門的な技術や技能〔具体的に:            〕  
9. 機材〔具体的に:            〕    10. その他[            ]



### 【問3】その他

1 本調査は、市内の全市民活動団体を対象として実施しています。あなたの知っている市民活動団体を教えてください。

フリガナ 団体名	フリガナ 代表者	連絡先(電話・住所など)

2 市民活動を推進するために、行政及び市民活動センターに求めることはありますか？

(1) 行政に求めること

( )

(2) 市民活動センターに求めること

( )

3 市民活動センターは、市民活動を応援するために、お得な情報や講座をご案内しています。センターからのお知らせを希望しますか？

1. 希望する

ア. Eメール

イ. FAX

ウ. 郵送

2. 希望しない

☆ご協力いただき、ありがとうございました。

☆必要があれば、市民活動センターから連絡させていただきます。

☆集計結果がまとまり次第報告いたします。

## (仮称)協働推進部会の設置について

### 1 概要

昨年度から検討している市民活動団体実態調査は、平成24年度ふじのくにNPO活動基金[新しい公共の場づくりモデル事業 裏面]を活用して実施します。

新しい公共とは、行政が中心となって担ってきた「公(おおやけ)」の課題を、その課題に関わる「市民」、「市民活動団体」、「事業所」そして「行政」が協働して解決する仕組みを構築する試みです。

そのため、これらの関係者が集まる協働推進部会(協議体)を組織し、調査の実施及び情報の活用方法に関する協議を行います。

また、アンケート結果から今まで行政として実施してきた協働啓発事業が期待通りの効果を出せていないことが判明したため、各セクター(市民、市民活動団体、事業所)の統括団体からなる推進部会で事業を練り直していきます。

### 2 目的

協働のまちづくり推進に関する課題の解決。市民・行政・事業者の役割の明確化。ネットワークの構築。以上の3点により協働のまちづくりを推進すること。

### 3 内容

- (1) 市民活動実態調査の実施
- (2) 事業所社会貢献活動調査の実施
- (3) 協働シンポジウム開催方法の協議
- (4) 調査結果の活用
- (5) 磐田市版協働のまちづくり事例集の検討

### 4 部会員推薦依頼団体

- (1) 磐田市自治会連合会
- (2) 磐田市社会福祉協議会(ボラ連事務局)
- (3) 磐田NPO法人連絡会
- (4) NPO法人磐田市体育協会
- (5) 磐田商工会議所
- (6) 磐田市商工会
- (7) 磐田成年会議所

### 5 平成24年度推進協議会の予定

- (1) 8月中旬 (仮称)協働推進部会設立、実態調査について
- (2) 10月 協働講話、協働シンポジウムの内容検討
- (3) 1月 調査結果の活用方法検討

## 推進委員会と推進部会の対比表

会議体	磐田市協働のまちづくり推進委員会	協働推進部会
設置主体	磐田市	市民活動センター
根拠	磐田市協働のまちづくり推進条例	設置要領(案)
目的	総合的な協働のまちづくりの推進に関する施策の調査審議 協働のまちづくりの推進に関し、市長に意見を述べる	協働推進に関する事業の具体的な内容についての検討・協議及び協力 協働推進に関する事業の調査・研究への協力
委員数	12人以内	15人以内
構成	市民等、識見を有する者(委嘱)及び市職員においては任命する者	NPO・事業者・行政
任期	2年(再任あり)	1年(再任あり)
財源	磐田市一般会計	平成24年度ふじのくにNPO活動基金 [新しい公共の場づくりモデル事業]

### 新しい公共の場づくりモデル事業の概要

- ア 地域からの提案をもとに、NPO等と都道府県・市区町村が連携して、又は、NPO等と都道府県・市区町村を構成員に含む協議体が実施主体として応募する。
- イ 事業の選定は運営委員会が行い、都道府県において決定する。
- ウ 選定された事業に必要な経費は支援事業基金から都道府県・市区町村又はNPO等と都道府県・市区町村を構成員に含む協議体に交付する。
- エ 実施に際しては、都道府県・市区町村又は協議体は自ら実施するほか、外部への委託や、実施主体の一員であるNPO等に委託又は助成する。



(様式1)

## 事業提案申込書

平成 年 月 日

磐田市長

【申請者】

所在地

団体名

代表者氏名

印

事業名	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">協働テーマ部門のみにする。</div>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">テーマ(基本施策名)</div>	
受託希望額	円
事業概要 (事業内容を簡潔に記載してください。)	
行政担当課	

添付書類

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| (1) 企画提案書 (様式2)   | (6) 申告書 (様式7)      |
| (2) 収支見積書 (様式3)   | (7) その他、市が必要と認めるもの |
| (3) 団体概要書 (様式4)   |                    |
| (4) 団体構成員名簿 (様式5) |                    |
| (5) 団体連絡票 (様式6)   |                    |


(様式2)

## 企 画 提 案 書

課 題 分 析	解決する課題 (地域の課題と市民ニーズをどのように捉えたかを記載してください。)	
	解 決 策 (課題の解決策を記載してください。)	
期待される効果		
事 業 内 容 (場所、対象、スケジュール等、事業の内容を具体的に記載してください。)		

<p>事業内容 (場所、対象、スケジュール等、事業の内容を具体的に記載してください。)</p>			
<p>特性</p>		強み	弱み
	団体		
	担当課		
<p>役割分担</p>	団体		
	担当課		
<p>実施体制 (事業実施における主要スタッフの配置及び経歴等)</p>			
<p>特にアピールしたいこと (専門性、独自性、先駆性、実績など)</p>			

担当課、団体の強い分野、弱い分野の記入欄を追加



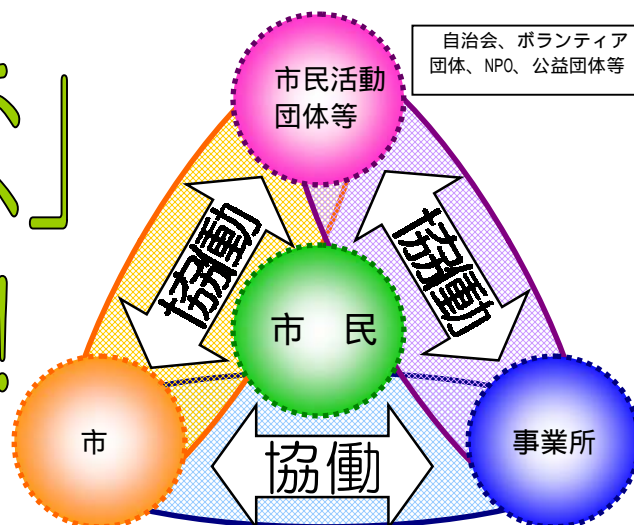




【協働】共通の目的を達成し、よりよい地域社会を実現するための手段です。  
市民活動団体・事業所・市、そして市民が協力し、得意分野をいかすことで、  
『あったらいいな』を実現することができます。

# 協働で 「あったらいいな」 を実現しよう!

## 磐田市の協働のイメージ



## 協働活動のステップ

### ステップ1 まちの「あったらいいな」を『考える』

- 「あったらいいな」を実現するために、あなたができることを考えよう！  
「できないこと」や「苦手なこと」を得意とする協働のパートナーを探してみよう。

### ステップ2 協働のパートナーを『探す』

- パートナーの特性を知ろう！【○=得意】

	自主性	地域性	専門・先駆性	迅速性	公平・公益性	継続性
市民活動団体	○	○	○			
企業	○		○	○		
市					○	○
市民(個人)	全ての協働事業に関わることができます。あなたの「得意」を生かしてください！					

### ステップ3 パートナーと『相談』(計画)

- どんな方法で実現するのか、相談しよう！

#### 協働の手法

相談方法	企画立案の意見交換、ワークショップ
------	-------------------

### ステップ4 協働活動の実施(実行)

- パートナーと一緒に「困りごと」を解決！

#### 協働の手法

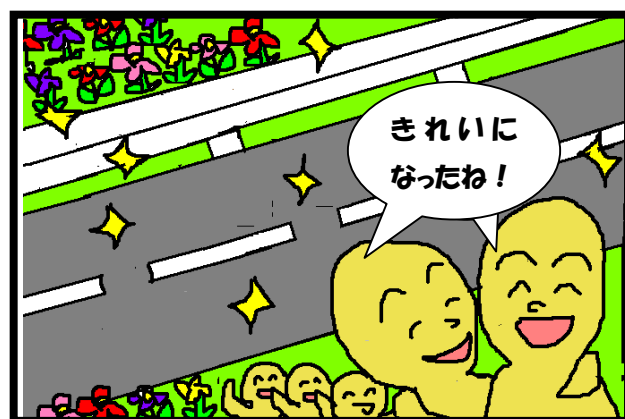
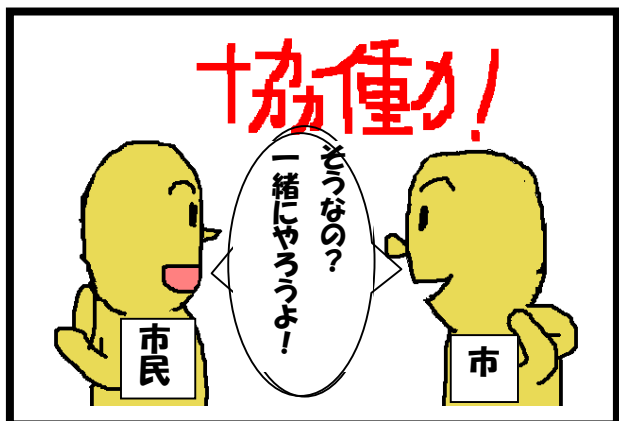
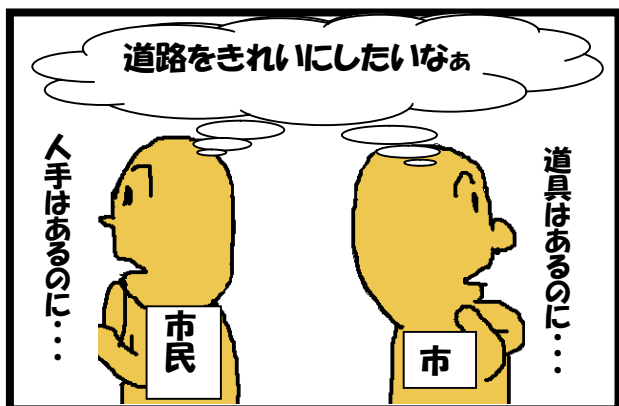
実施方法	共催、協力、委託、補助、後援
------	----------------

### ステップアップ 継続&発展させるために(改善)

- 活動をふりかえり、改善を加えてより良い協働活動を実施しよう！



## ～協働事例紹介～



## 協働ワークシート

### 【ステップ1】地域の困りごとを「考える」

・地域の困りごとは何ですか？

市民：地元道路が荒れている.....

市：市道の管理が大変.....

・課題を解決するために、あなたは何かができますか？

市民：地元道路を整備するための人手がある.....

市：道路補修資材がある.....

### 【ステップ2】協働のパートナーを「探す」

同じ課題を持ち、足りない部分を補いあえるパートナーを探しましょう。

市民：道路補修資材がほしい.....

市：道路を補修する人手がほしい.....

※見つからない場合は、最終面の「協働のまちづくりに関するお問合せ先」にご連絡ください！

### 【ステップ3】パートナーと解決策の「相談」

解決方法を一緒に考えましょう(方法やスケジュール)

いつ：〇月△日の□時から.....

どこで：市道●号沿線で.....

誰が：地元市民〇人と市△課が.....

何を：一緒に道路補修作業をする.....

役割：市民は、道路補修の人数を確保する.....

市は、道路補修用資材を用意する.....

### 【ステップ4】協働活動の実施

最終ページの5つのルールを守って事業を実施しましょう。

### 【ステップアップ】ふいかえり&継続・発展

活動の経緯や効果についてパートナーと一緒に振り返り、活動の継続や発展について考えてみましょう。

## 『協働』を実施するための 5つのルール

### その1 目的の共有

パートナーと協働する目的を共有しましょう。また、お互いが協働する理由も共有しておきましょう。

### その2 弱みと強みの確認

目的実現に向けて、自分たちの弱みとパートナーの強み。また、パートナーの弱みと自分たちの強みを確認しましょう

### その3 対等な立場

役割分担を明確にしましょう。パートナーは、同じ課題を解決する仲間。お互いが主役です。

### その4 自主性の尊重

パートナーは自立した別団体です。パートナーの立場や都合を考慮して、お互い気持ちよく協働しましょう。

### その5 情報共有・公開

協働事業に関する情報は、お互いに共有しましょう。  
そして、事業内容を公開して、協働を広めましょう！

### 協働のまちづくりに関するお問合せ先

磐田市市民活動センター「のっぽ」	電話	0538-36-1890
磐田市 市民活動推進課		0538-37-4710
// 福田支所 市民生活課		0538-58-2370
// 竜洋支所 市民生活課		0538-66-9100
// 豊田支所 市民生活課		0538-36-3150
// 豊岡支所 市民生活課		0539-63-0020



# 協働活動実施の手引き（案）

【ステップ1】 「あったらいいな」を考える

【ステップ2】 協働のパートナーを探す

【ステップ3】 パートナーと解決策の相談

【ステップ4】 協働活動の実施

【協働チェックリスト】

【協働できなくても（支援施策紹介）】

平成24年1月

磐田市市民部市民活動推進課

## 【ステップ1】『あったらいいな』を「考える」

①『あったらいいな(困りごとやサービスなど)』を考えてみましょう

-----

②『あったらいいな』をどのように実現しますか？

『どこで』、『何を』、『どのように』をできるだけ具体的に記入しましょう。

--

③上の②アイデアは、下の4点全てに『あてはまる』または『あてはめることができる』活動ですか？

- 公開性（誰でも参加できる）
- 公益性（多くの人たちのためになる）
- 非営利性（営利を目的としない活動）
- 非政治・宗教（政治、宗教又は選挙活動を目的としない事）

はい→【ステップ2】へ 協働活動を考えてみましょう！

協働チェックリスト

「目標設定 1・2」をチェック！

いいえ→【まちづくり支援施策】最終ページへ

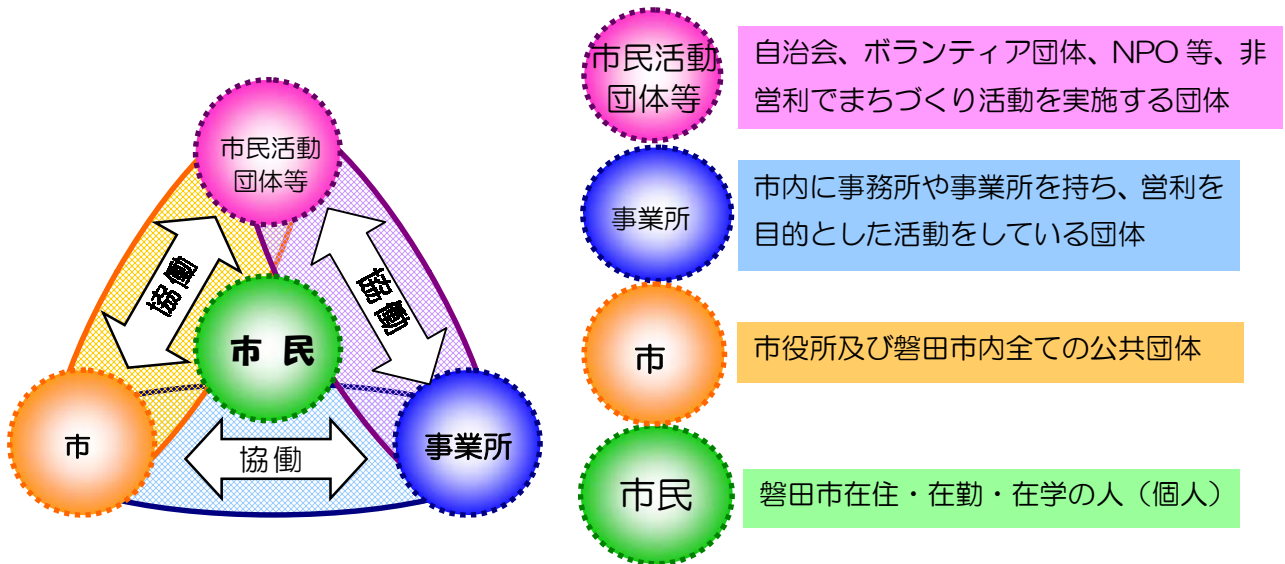
このアイデアは協働活動で実施できそうもありません…

まちづくりに関することは、市民活動センターにご相談ください！

## 【ステップ2】協働のパートナーを「探す」

協働活動は、市民活動団体・事業所・行政のうち、2つ以上が協力して行います。市民は、どの活動にも参加することができます。

### ①協働のパートナーを知りましょう



### ②パートナーの特性【○＝得意】

パートナー	主体性	地域性	専門・先駆性	迅速性	公平・公益性	継続性
市民活動団体	○	○	○			
事業所	○		○	○		
市					○	○
市民	全ての協働活動に関わることができます。自発的に参加しましょう。					

### ③パートナーが協働活動に求めるメリット

パートナー	メリット
市民活動団体	団体活動の活性化、社会的な信用及び認知度の向上
事業所	社会貢献活動による事業所のイメージアップ（SR）
市	事業・業務の見直し、職員の意識改革、まちづくりの推進
市民	地域の困りごとに対応したサービスの提供及び受益

※パートナーが「見つからない」「見つけ方が分からない」方は、最終ページの協働の窓口へご相談ください。

協働チェックリスト  
「目標設定3・4」をチェック！

## 【ステップ3】 パートナーと解決策の「相談」

### ① パートナーと協働活動の内容を決めましょう

活動名		
目的		
対象		
期間	平成__年__月__日から平成__年__月__日まで	
協働の 手法	相談方法	企画立案の意見交換、課題解決のワークショップなど
	実施方法	事業共催、事業協力、委託、補助、後援など
内容		
活動目標		

### ② 役割分担（ステップ2を参考に記入しましょう）

【	】の役割
【	】の役割



## ステップ4 協働活動の「実施」

ルールと **チェックリスト「経過」**を確認し、協働活動を実施しましょう！

### 『協働』を実施するための 5つのルール

#### その1 目的の共有

パートナーと協働する目的を共有しましょう。また、お互いが協働する理由も共有しておきましょう。

#### その2 弱みと強みの確認

目的実現に向けて、自分たちの弱みと、パートナーの強み。また、パートナーの弱みと、自分たちの強みを確認しましょう

#### その3 対等な立場

役割分担を明確にしましょう。パートナーは、同じ課題を解決する仲間。お互いが主役です。

#### その4 自主性の尊重

パートナーは自立した別団体です。パートナーの立場や都合を考慮して、お互いに気持ちよく協働しましょう。

#### その5 情報共有・公開

協働事業に関する情報は、お互いに共有しましょう。  
そして、事業内容を公開して、協働を広めましょう！

# 協働チェックリスト

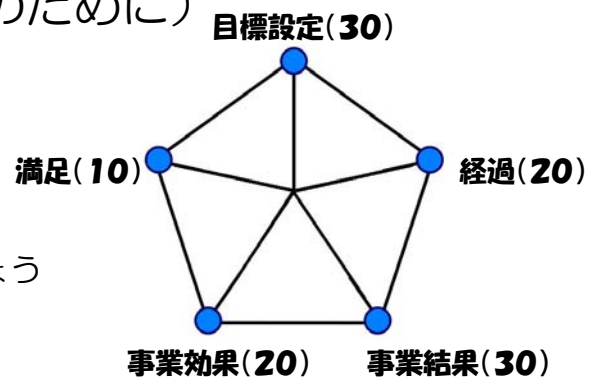
事業終了後に  
「事業成果」  
「事業効果」  
「満足」をチェック！

## 各段階で協働のポイントをチェック！

	No.	チェック項目	達成度
目標設定	1	活動の目標は明確ですか	1 2 3 4 5
	2	自組織に不足しているものを認識できていますか	1 2 3 4 5
	3	パートナーに期待するもの(こと)は明確ですか	1 2 3 4 5
	4	パートナーのメリットを認識できていますか	1 2 3 4 5
	5	活動は目標に合致しているかどうかを考慮しましたか	1 2 3 4 5
	6	活動の受益者を把握していますか	1 2 3 4 5
経過	7	活動の進捗を把握できていますか	1 2 3 4 5
	8	十分な危機管理を行っていますか	1 2 3 4 5
	9	お互いに協働のプロセスを楽しめていますか	1 2 3 4 5
	10	パートナーは十分に役割分担を果たしていますか	1 2 3 4 5
活動結果	11	当初の目標は達成できましたか	1 2 3 4 5
	12	それぞれのメリットに合致しましたか	1 2 3 4 5
	13	お互いに不足しているものを補い合うことができましたか	1 2 3 4 5
	14	それぞれの組織が成長できましたか	1 2 3 4 5
	15	新たなネットワークをつくることができましたか	1 2 3 4 5
	16	この活動を今後も続けたいと思いますか	1 2 3 4 5
活動効果	17	受益者に満足を与えられたと思いますか	1 2 3 4 5
	18	地域や社会に新たな「気づき」を与えられましたか	1 2 3 4 5
	19	第三者による評価（メディアによる紹介など）を得ましたか	1 2 3 4 5
	20	新たな発展の可能性を見つけられましたか	1 2 3 4 5
満足	21	あなたは、この活動に満足していますか	1 2 3 4 5
	22	パートナーは、この活動に満足していますか	1 2 3 4 5

## レーダーチャート作成（継続&発展のために）

目標設定	経過	活動結果	活動効果	満足



協働のチェックポイント点数を計算して完成させましょう

## 今後望む展開

パートナーと話し合い、活動の今後について考えてみましょう。

-----

## 【まちづくり支援施策】

協働活動ばかりがまちづくりではありません。

協働しなくても解決できる困りごともたくさんあります。

市民活動センターにご相談いただければ、いろいろな支援施策をご紹介します！

例えば・・・

### 【専門知識】

市民活動センターのネットワークの中から、適切な方をご紹介します！県の事業「地域づくりアドバイザー」もおススメ。

### 【人 手】

「まちづくりサポーター」があなたのまちづくり活動をお手伝いします。企画段階からの参加や、技能を活かした活動などについてもお問合せください！

### 【資 材】

「まち美化パートナー制度」は、道路補修や街路美化（清掃や花壇など）に必要な資材をご用意します！

### 【資 金】

用途や補助額などに応じた補助・助成制度をご紹介します！

- ・地域づくり補助金（市）
- ・協働のまちづくり提案事業（市）
- ・地域支援推進事業費補助金（県） などなど

### 協働のまちづくりに関するお問合せ先

磐田市市民活動センター「のっぽ」	電話	0538-36-1890
磐田市市民活動推進課		0538-37-4710
// 福田支所	市民生活課	0538-58-2370
// 竜洋支所	市民生活課	0538-66-9100
// 豊田支所	市民生活課	0538-36-3150
// 豊岡支所	市民生活課	0539-63-0020



テーマ	観光振興 を 共催 で実現！
事業名 (テーマ)	地域の産業再発見！ <b>エリアR150ツーリズム</b>



シラスの水揚げ見学



地産地消バイキング



シラス加工場見学

きっかけ	磐田市の国道150号沿いには特色のある産業があるのに、地元の人にもあまり知られていない。
目的と内容	参加者の口コミで魅力を広めることを目的として、市民を対象とした国道150号沿いの産業を周知するプチツアーを企画・実施した。 シラスの水揚げと加工場見学、コーデロイハウスでの別珍・コーデロイの歴史学習及び機織体験をはじめとして、養鰻業者や無農薬野菜農家など、普段では見学や体験が難しい産業ポイントを巡った。

協働のポイント			
役割分担	事業者	地元のネットワークで見学先調整、募集チラシ作成、応募受付、当日添乗	
	醍醐荘		
	行政	漁協や養鰻業者等との見学調整、募集チラシ配布(市内幼稚園、保育園、小学校)、ラジオ放送手配、当日添乗	
	農林水産課		
	協力団体等		
成果と今後	<p>担当者同士の打合せを定期的実施し、訪問先やスケジュール、PR方法等を検討したことにより、相互の特性をいかしたツアーを組むことができた。</p> <p>参加者アンケートの満足度が高く、「知らなかったが興味が湧いた」「また実施してほしい」とのコメントに効果を感じた。</p> <p>旅行業者が着地型観光のメリットを把握しきれていないことから、参加者のニーズ把握をしたうえで着地型観光の参入を期待したい。</p> <p>平成24年度においては市で予算化し、いわた風土ツーリズムとして実施する予定。</p>		
担当者コメント	<p>【醍醐荘】 地場産業を知って頂くことにより、地域への興味が増し担い手側のPRになったように思います。地場産業の発展が地域の発展に繋がり、絆も深まって行くように感じました。</p> <p>【農水政策室】 3回のツーリズム開催により、多くの参加者から非常に高い満足度を得ることができた。提案事業において民間、行政のメリットを集約した結果、このような有益性の高い事業ができ、良い事例になったと思う。</p>		
事業開始	平成	23年	7月
実施地域	磐田市		
団体PR			
PRLしたいこと			
この事業の連絡先			
連絡先	磐田市市民活動推進課	電話	0538-37-4710

# 中東遠地域づくりの新たな一歩

**中東遠地域のNPO同士+αが  
つながる初めての機会です。**

各地域の課題を中東遠という視野で考えることで、新たな解決の道が見つかるかもしれません。  
中東遠地域のNPO、自治会、行政等の関係者の参加をお待ちしております。




御前崎市



菊川市



掛川市

日時/テーマ	形式/講師/会場
<b>第1回</b> 8月28日(日) 13:30~16:15 話題提供 「中東遠地域とNPO活動の現状」 情報提供 ① 「地域におけるNPOと自治会活動」 ② 「市センターにおけるNPO支援」 参加者の交流会	形式:ミニ講座・情報交換・交流 袋井市メロープラザ 館長 戸塚征彦氏 掛川市生涯学習まちづくり課 岡田清吾氏 磐田市市民活動センター長 三輪邦子氏 会場:袋井市協働まちづくりセンター (ふらっと)袋井市方丈3-5-11 0538-43-6315
<b>第2回</b> 9月11日(日)13:30~16:15 「地域協働型まちづくりの成功の秘訣」 事例報告 「掛川市倉真(くらみ)まちづくり委員会の活動」 倉真まちづくり委員会 委員長 染葉祐一郎氏 ~NPO、地縁組織、行政などが上手く繋がる方法は~	形式:ミニ講座・ワークショップ (ワークショップのやり方やコツも一緒に学べます) MFA会議ファンリテーター 小野寺郷子氏
<b>第3回</b> 10月16日(日)13:30~16:15 「中東遠の未来予想図を創ろう!」 ~他地域の事例から、めざす中東遠の姿を探る~	
<b>第4回</b> 11月27日(日) 13:30~16:15 「未来を現実にする実行計画作戦会議」 ~それぞれの地域づくりと活動を一歩進める計画を創る~	会場:袋井市メロープラザ 袋井市浅名1027 0538-30-4555
<b>第5回</b> 12月11日(日)13:30~16:15 (オープン講座) 今年度のまとめ、実行計画プレゼン大会&交流会	

対象者 NPO(法人格は問いません)、自治会、行政等の関係者  
 参加費 各回500円 定員 各回30人  
 申込・問合せ 磐田市市民活動センターのっぽ TEL/FAX0538-36-1890  
 (磐田市森岡150 磐田市役所豊田支所内) Eメール center@za.tnc.ne.jp  
 申込方法 裏面の参加申込書をFAXするか、お電話又はEメールでお申し込み下さい。  
 申込締切 8月22日(月)

袋井市

主催 公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会  
 企画運営 NPO法人磐田まちづくりネットワーク  
 企画運営協力 NPO法人掛川シニア交流研究会

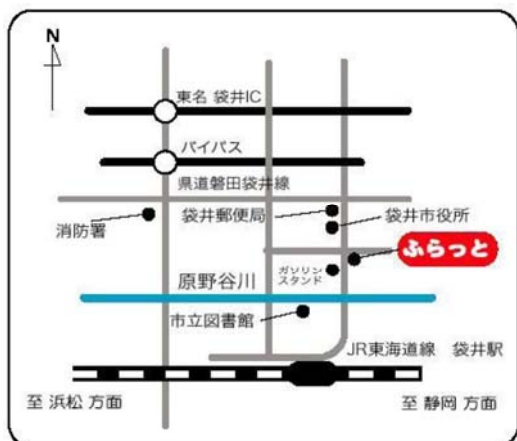


後援 静岡県、ろうきん、全労済、連合静岡、(社)静岡県労働者福祉協議会  
 協力 磐田市、袋井市、森町、掛川市、菊川市、御前崎市  
 袋井市協働まちづくりセンター、掛川市大東市民交流センター、掛川市大須賀市民交流センター



# 会場への案内図

第1回会場 袋井市協働まちづくりセンター(ふらっと)  
袋井市方丈3-5-11 TEL0538-43-6315



駐車場は袋井市役所駐車場をご利用下さい

## ■ プレゼント講座とは...

労働金庫(ろうきん)からの配当金の一部を、県下の労働組合が「社会貢献のため寄付(再拠出)」をした資金を基に実施する講座です。

## ■ (公財)静岡県労働者福祉基金協会とは

労働金庫(ろうきん)等が1976年に「勤労市民の福祉」向上をめざした財団として創設し、「社会貢献活動」と「教育・教養文化事業」「調査研究事業」等を行っています。

そして2011年4月より『公益財団法人』へ移行いたしました。

第2~5回会場 メロープラザ  
袋井市浅名1027 TEL0538-30-4555



駐車場はメロープラザ駐車場をご利用下さい

宛先 磐田市市民活動センター

FAX 0538-36-1890

# 参加申込書

名前						住所					
TEL						所属					
全回を通してのご出席か、ご都合の良い回(何回でも結構です)のみのご出席か、 <input type="checkbox"/> 内に <input checked="" type="checkbox"/> をお付けください。											
全回出席	第1回 8月28日(日)	第2回 9月11日(日)	第3回 10月16日(日)	第4回 11月27日(日)	第5回 12月11日(日)						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						

参加費は当日会場にていただきます。参加申込受付後のご通知はいたしませんのでご了承ください。

※個人情報適切に管理し講座目的以外に使用しません。  
尚、講座当日に出席者間の交流を図るため、皆様の所属団体、お名前、住所(市町)に関する情報提供を  
ご了承ください。

防災

地域資源

福祉

# 地域の安心と豊かさを育む

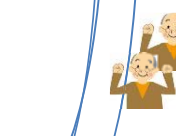
# 中東遠地域づくりシンポジウム

## NPOと一緒に地域課題の解決方法を考える

<b>第1回</b> 9月29日(土) 13:30~16:30	<b>一人ひとりが考える地域の減災対策</b> ミニレクチャー & グループワーク 「個人と地域の役割を考える」 御前崎災害支援ネットワーク 会長 落合美恵子 氏 事例報告(1) 「山間地における身近な減災活動」 倉真地区まちづくり委員会(掛川市) 委員長 染葉祐一郎 氏 事例報告(2) 「岩手県の災害ボランティア活動から考える」 御前崎災害支援ネットワーク 理事 澤島久美子 氏
	<b>地域資源の活用による元気づくり</b> ミニレクチャー & グループワーク 「地域で大切なものを見出し活かす」 中小企業診断士・6次産業化プランナー 中野 真 氏 事例報告(1) 「駅前に残る赤レンガ倉庫をまちづくりの拠点に！」 NPO法人菊川まちなかいきいき倶楽部 三浦康子氏 小林涼子氏 事例報告(2) 「市民活動による大須賀地区のまちづくり」 遠州横須賀倶楽部 大番頭 鈴木武史 氏 <b>「遠州横須賀街道ちっちゃな文化展」の現地研修を行います</b>
<b>第2回</b> 10月27日(土) 13:30~16:30	<b>地域福祉を支える担い手づくり</b> ミニレクチャー & グループワーク 「地域福祉の視点から住みよい地域づくりを考える」 静岡福祉文化実践研究所 代表 平田 厚 氏 事例報告(1) 「地域の絆を大切にしたい総合的な活動」 田原地区社会福祉協議会(磐田市) 事務局長 山下幹種 氏 事例報告(2) 「みそづくりを通じた世代間交流」 そこがみそ原田企業組合(掛川市) <b>当日は「そこがみそ原田企業組合」の味噌を販売します</b>
	<b>地域課題解決のロールモデルを考える</b> 基調講演 「市民活動による地域課題の解決」 講師 静岡大学人文社会科学部 教授 日詰一幸 氏 パネルディスカッション 「地域課題解決のロールモデルと担い手」 コーディネーター 静岡大学人文社会科学部 教授 日詰一幸 氏 パネリスト 御前崎災害支援ネットワーク 会長 落合美恵子 氏 遠州横須賀倶楽部 大番頭 鈴木武史 氏 磐田市田原地区社会福祉協議会 会長 松下忠夫 氏



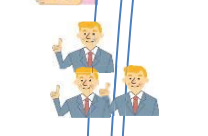
御前崎市



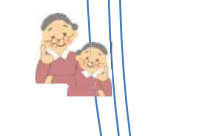
掛川市



磐田市



森町



袋井市

- 会場 掛川市大須賀市民交流センター(掛川市西大淵100 TEL. 0537-48-1002)
- 参加費、定員、問合せ、申込については裏面をご覧ください。

主催 公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会  
 企画運営 NPO法人磐田まちづくりネットワーク  
 企画運営協力 NPO法人掛川シニア交流研究会

後援 静岡県・静岡県労働金庫・(社)静岡県労働者福祉協議会・磐田市・袋井市・森町・掛川市・菊川市・御前崎市  
 協力 磐田市市民活動センター・袋井市協働まちづくりセンター・掛川市大東市民交流センター・掛川市大須賀市民交流センター

